

組織とデータをサイバー攻撃から守れるプロフェッショナルへ サイバーセキュリティ対策実践講座 第4回

「盾の技術1 企業の情報システムをどのようにして守るべきか？」

主催 株式会社浜名湖国際頭脳センター

企画協力 株式会社アドウィル

後援 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

本講座は、サイバーセキュリティ対策に詳しい専門家・実務者を講師としてお招きし、サイバー攻撃から組織とデータを守るためのマネジメント体制の確立・運用とサイバー攻撃の最新動向の理解、攻撃を早期把握し分析する力を向上させるための実践的な知識・技術を習得するものです。

第4回は「サイバー攻撃から組織とデータを守るための防御力」をテーマに、崩しにくいシステム構築に向けた開発工程ごとのリスク管理の実施方法、脅威分析のフレームワークを利用した脅威の特定やリスク分析・リスク対応、理想だけでなく各社の実情を踏まえたネットワークセキュリティ構築のポイントなど習得していきます。

* 第1回～第3回、第5回の内容・講師プロフィールは裏面に記載しています



[日程] 11月17日(金) 10:00～16:00 ※日程は変更になる場合があります

[会場] 浜松市中心部

[内容] 企業の情報システムは様々な脅威にさらされ、これらの防御は喫緊の課題となっています。講師が10年以上にわたり上場企業の情報システムをコンサルティングしながら設計・構築してきた経験を元に、崩しにくいシステムの設計を規模ごとに説明し、さらに「ゼロトラスト」の善し悪しについても解説していきます。

[対象] 情報システム担当者・情報セキュリティ担当者

インフラエンジニア(サーバエンジニア、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア)

[講師] 瀧 康史 氏 (InfiniCloud 株式会社 代表取締役社長)

[第4回・第5回担当]

'01年ソニーコンピュータエンタテインメントを退職し、(有)ジャストプレイヤー(当時)設立、インターネットを利用した配信システムや認証システムなどを元にソフトウェアを預かり利用してもらうモデル(=クラウドビジネス)で起業。'14年国産オンラインストレージサービス「TeraCLOUD」を立ち上げ、基本設計から開発まで着手。その他にもプライベートクラウド、ネットワーク、ストレージを統合したサービスを運営してきた。'21年から静岡県警察「サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー」を受嘱。

[定員] 15名(最少催行人数5名)

[受講料] 33,000円(税別)/名(税込36,300円)

全5回セット 148,000円(税別)/名(税込162,800円)

[その他] ノートパソコンをご持参ください。

[お申込方法] 〆切 第4回 11月3日(金) / 第1回・全5回セットおよび第2・3・5回…各回2週間前

* キャンセルにつきましては、裏面「キャンセル及びキャンセル料について」をご参照ください。

■送信先 jinzai@hamanako.co.jp ■件名 「サイバーセキュリティ講座申込」

メールに以下をご記載の上、お送りください。



(1) 貴社名

(2) ご住所(郵便番号)

(3) ご担当者 お名前(ふりがな) / 部署・役職 / 電話番号 / メールアドレス

(4) 受講者 お名前(ふりがな) / 部署・役職 / メールアドレス / 申込形式: **ご希望回または全5回セット**

* 受講者が複数名いらっしゃいましたら、人数分ご記載ください

* 受講者とご担当者が同じ方でしたら、その旨ご記載ください

* お送りいただいた情報は、本講座のご連絡のほか、今後の情報提供で利用する場合がございます

[全5回日程・内容]

	日程	テーマ
第1回	9月28日(木) 10:00-16:00	組織体質改善のためのマネジメントシステム
	情報資産の価値や脅威、脆弱性などリスクアセスメントの基礎知識からISO(国際標準化機構)が提唱する情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)やITサービスマネジメントシステム(ITSMS)、BCP(事業継続計画)の国際規格であるBCMSなどのマネジメントの確立と運用事例を詳解します。	
第2回	10月13日(金) 10:00-16:00	矛の技術1 最近のサイバー攻撃の状況
	IPA(情報処理推進機構)が毎年発表する「10大脅威」の解説から最近のサイバー攻撃のグループや攻撃内容の動向、違法なアクセス先であるダークウェブの状況について解説します。また、一般に公開されている情報源からアクセス可能なデータを収集、分析する「OSINT」情報の活用も触れていきます。さらに、昨今話題の生成系AIがもたらす脅威についても解説します。	
第3回	10月27日(金) 10:00-16:00	矛の技術2 脆弱性の解説、パソコンの調査方法について
	Webアプリの脆弱性について解説するとともに、脆弱性である状況を体験し、また、パケット取得・プロトコル解析ソフト「Wireshark」で、実際の通信状況の確認を行っていきます。さらに、Window/Linuxでの各種ログとその調査方法についても学びます。	
第4回	11月17日(金) 予定※ 10:00-16:00	盾の技術1 企業の情報システムをどのようにして守るべきか？
第5回	11月24日(金) 予定※ 10:00-16:00	盾の技術2 ウェブシステムが外部から攻撃されないようにするために
	Webシステムはサービスの入り口となって久しいですが、セキュリティホールが原因でサービス廃止をやむなくされた事例が多々あります。講師のWebシステムを設計・構築してきたノウハウから、堅牢で情報漏洩しにくいシステムはどのように作るべきかを、流行のクラウドネイティブまで含めて解説していきます。	

※第4回・第5回は日程が変更になる場合があります

[講師(第1回・第2回・第3回)]

■長谷川 孝博氏(国立大学法人静岡大学 情報基盤センター長/静岡大学 CISO/教授) [第1回担当]

静岡大学情報基盤センターにて2005年より専任教員を務め、2015年に静岡大学CISO就任、2019年情報基盤センター長に就任する。ISMS(初認証2003年)やITSMS(初認証2013年)を、大学の大規模ネットワークと多種に亘る全学情報サービスの提供部署である情報基盤センターで確立し、運用を続けている。

■但野 正行 氏(株式会社 Geolocation Technology フェロー) [第2回・第3回担当]

2018年1月に(株)Geolocation Technology 入社。同年9月、取締役 CTO 技術開発部部长に就任。2022年9月末に同役職を退任後、技術分野のフェローとなり、主にサイバーセキュリティに関する業務や新技術の調査を担当する。

キャンセル及びキャンセル料について

- ・キャンセルされる場合には、講座開催日(複数日開催の場合は開始日)10日前の17:00までに、メールまたはお電話でご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、原則として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・受講者の変更は、キャンセル料は発生いたしません。

-受講者数実績 53,000名超-

人材育成支援 Web サイト



お問い合わせ先

株式会社浜名湖国際頭脳センター 担当:米良・佐藤

TEL:053-416-4002 / Mail:jinzai@hamanako.co.jp

*メールマガジン配信中!(人材育成支援 Web サイトからご登録いただけます)



Ver1.0